

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	その他専門店 [酒]（経営者）	来客数の動き	・お中元などのギフトや飲物が良く売れている。
	やや良くなっている	スーパー（店長）	販売量の動き	・例年、梅雨の時期は売上高が低迷するが、今年は堅調に推移しており、梅雨明け後も期待できる。また、土用の丑の日が日曜日であったため、昨年以上に売上高が伸びた。
スーパー（財務担当）		来客数の動き	・7月は長雨の影響で客足の動きは鈍かったが、既存店の4～7月の来客数の動きを前年と比較すると、ほぼ横ばいであった。	
衣料品専門店（経営者）		来客数の動き	・第1週、第2週とも、多少天候は悪かったが、ちょうどバーゲンが始まった第2週から一挙に売上高が増加し、7月は久しぶりに良い。	
観光名所（職員）		来客数の動き	・観光客が少しずつ増加している。	
住宅販売会社（従業員）		販売量の動き	・4月と比べると、販売量、販売単価ともに増加している。	
変わらない		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・3か月前から、やや悪い状況が続いているが、今月は長雨、大雨の影響により来客数が減少したため、その状況がさらに悪化している。
	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・7月は雨が多かったこと及びたばこの値上げに伴い6月にたばこの販売数が伸びた影響で、来客数、売上高が減少している。来客数、客単価ともに前年を5%から10%割り込んでいる。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・7月のセールの前半は前年を上回ったが、再値下げを実施した中旬以降、来客数が極端に落ち込んできた。値下げによるインパクトが年々薄れており、トータルでは前年並みの見通しである。	
	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・前半は梅雨明けが遅かったため、客足も鈍かったが、中旬ごろから暑さも本格化し、エアコンの販売は前年並みまで回復してきた。それに対して、冷蔵庫の販売は思うほど伸びていない。	
	乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・新車の販売価格をかなり下げて販売したが、販売台数が伸びない状況が続いている。	
	乗用車販売店（管理担当）	それ以外	・全国的に空前の好景気と言われているが、取引先や銀行などに尋ねても、景気が良いという話は聞かない。	
	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・県下の軽市場をみると、好調に推移をしているが、当社では6月の販売状況が非常に悪いかと思えば、7月は前年を上回るなど、不安定な状況である。	
	その他専門店[CD]（店員）	お客様の様子	・来客数や客との会話から特に景気が悪くなっているような印象は受けない。ガソリン価格の上昇についての話題も思ったほど出てこない。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・昼間のランチ時以外は、来客数が減少している。	
	都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・来客数は、若干増加しているが消費単価は下げ止まっていない。	
	タクシー運転手	単価の動き	・例年より梅雨が長引いている為、利用客減少に歯止めが掛かり、大きな落ち込みにはなっていない。	
	通信会社（支店長）	お客様の様子	・客の契約数、利用状況、業界全体の契約数は変わらない。	
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・雨の影響による来客数の減少により、売上高も減少した。	
	設計事務所（職員）	競争相手の様子	・競争相手との競合で、低価格が恒常化しており、依然として厳しい。	
	その他住宅（住宅ローンセンター）	お客様の様子	・客からは景気の回復が感じられず、貸出金利の上昇もあり状況は良くなっていないという話を聞く。	
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・7月の雨や暑さの影響で、ファミリー層を中心に郊外ショッピングセンターに客がかなり流れている。商店街には映画館がなく、郊外のショッピングセンターにシネコンが出来たこともその要因である。
一般小売店[乾物]（店員）		販売量の動き	・お中元など、儀礼的なものを廃止しようとする動きがあり影響を受けている。	

		百貨店（営業担当）	それ以外	・一部の商品を除き、全体的に前年割れの厳しい状況で推移し、来客数も前年数を割り込む日が多く低調である。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・ゼロ金利の解除による借入利息の上昇や、原油高騰による物価の上昇によって、買い控えをしている。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・原油高の影響から、ガソリン代の高騰による買い控えが目立っている。排気量の小さい自動車は従来の動きを保っているが、それ以外は販売量が減少している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・3か月前と比べて、夜、飲みに出る客も減少しており、乗車してくれる客も増加していない。また、客のいる中央通りにタクシーレーンがほとんどないため、客のいる交差点に止めていたが、駐車違反が厳しくなったため止めにくい状況である。
	悪くなっている	一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・今年は例年に比べてお中元が少なく、月初めは雨が長く月末は暑かったため、花を買うには厳しい条件である。また、あちらこちらで値段が安く販売されていることが影響している。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	お客様の様子	・サッカーワールドカップ、さらに長梅雨の影響で料飲店集客数が前年度比で激減している。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・ガソリン価格、金利の上昇に伴い、客が今後厳しくなることを予想し、すべての面で消極的になっている。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・既存品、リニューアル品については苦戦しているが、秋の新商品により、売上高は上昇している。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規取引先である専門店の売上が好調である。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新商品の販売が少しずつ増加してきた。また、トイレトペーパーも活発に動いている。
		通信業（営業担当）	それ以外	・昨年に比べ、職場や客との商談のなかでも、夏のレジャー、家族旅行などの計画などの話題が出ることが多くなってきている。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・大都市圏で拡大してきたフリーペーパーが、中規模の都市にも広がり、受注量が順調に推移している。また、大都市圏の発行部数やページ数が増加する傾向にある。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・ユーザーは工事量の裏付けがあることから新車購入に積極的であり、相変わらず引き合いは活発な状況が続いている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が伸びず、受注しても受注価格が非常に低い。
		輸送業（役員）	受注量や販売量の動き	・取引先から、7月は雨が多かったため、主力の清涼飲料関係の売上高が数%落ちているということ聞く。
		公認会計士	取引先の様子	・今月の各企業の試算表、決算書などを見ると、前年比での伸びが弱くなっている。3か月前はもう少し良かったが、ここへ来て売上及び利益が7%程度落ち込んでいる。
	やや悪くなっている	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・今年で一番受注量が少なく、ユーザーからの引き合いが一段と減っている。また、排ガス規制のない地域（東北、北海道）では、関東、関西からの中古車が出回り、ユーザーのニーズにも変化が見られる。
		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・厳しい値下げ競争が続いており、採算を度外視した価格でなければ落札できない状態が続いている。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数より、6月まで3か月連続で、前年同月比2けたないしはそれに近い伸びを示しているため、景気は良くなってきている。

	民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・求人数は、前年度比1割増で推移している。サービス業、製造業の求人意欲が強まっており、それ以外でも技術職を中心に採用したいという企業も多い。ただし、事務職関係の求人は前年度をやや下回っている。
変わらない	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・最近、全体の派遣社員の登録者数が減少している。正社員志向が強まっており、派遣業界にとっては少し逆風となっている。
	求人情報誌製作会社（従業員）	求人数の動き	・求人数の動き、数ともに、業種によってばらつきがある。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・以前はボーナスチャンスセールなどで盛り上がった時期であるが、通常月と同じである。葬祭業は好調であるが、一般小売業は不振である。
	学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・採用者数の動向は伸び悩み、若しくは横ばい状態である。
やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求職者数の動き	・求職者数の動きが四国では少し落ち着いてきている。景気の好転、四国外への優秀な人材流出、転職希望者の動きの一段落という複合的な要素が考えられる。そのため、求人サイトなどでPRしても、エントリーや採用実績がやや低下している。
悪くなっている	-	-	-